

# 令和6年度一休さん児童発達支援事業所における自己評価表 集計結果

## (令和7年1月実施分)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点,課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80	20		ブレイルームの広さは良いがトイレが一つの為、トイレ誘導に工夫を要する。
	2	職員の配置数は適切であるか	80	20		・幼児クラスと学童クラスで補いあえている。 ・配置数は適切だが、低年齢児が増えており、曜日によっては足りない時がある。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	60	40		・走り回れる部屋、座って遊ぶ部屋、食事や制作をする部屋というふうにひとりひとりが理解し、使い分けが出来ている。 ・体格差のある子どもに対応した設備ではないが、幼児用便座・踏み台などで調節している。 ・現在は環境(設備)に合わせ、活動の切り替えに部屋移動するなどして子ども達が切り替えやすいよう工夫してきた。 ・痲癢を起こす子どもが多くクールダウンできる小部屋が必要。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80	20		毎日その日の活動の反省や情報共有の時間をしっかり取り、問題に対する改善に向けた話し合いが出来ている
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			平成28年度より保護者向けアンケートを実施し、業務改善につなげている。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			事業所内に掲示し、保護者に紙面で配布し、ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100	第三者による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			可能な限り外部の研修会にも参加し、参加した研修の報告を会議や書面にて伝達したり、実践したりしている。 <b>【改善目標①】</b>
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100			・定期的に面談も行い、保護者と日頃から情報共有しながら作成している。 ・利用者に関わるスタッフ全体で利用児の現状把握をするようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			個々のアセスメントシートの評価を利用しながら活動の内容を決めている。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	100			常に支援計画を見る事が出来、それを基に職員間で話し合いながら支援内容を設定している。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100			・計画に沿った支援を行いながらその時々の子どものコンディションに寄り添った支援も行っている。 ・担当者会議や面談後に職員同士で話し合い、今後の対応を考えている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			プログラムを基に当日の朝に話し合いを行い、スケジュールを立てている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			その日に利用する子どもに合わせて一人一人が楽しく取り組める内容にしている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100			主に集団活動であるが、活動の中で子どもに応じて内容を変えたり、個々に合わせた活動内容にしている。

適切な支援の提供	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝打ち合わせを行っている。欠席者が出る等変更が生じた場合も話し合いながら変更を行っている。</li> <li>・毎朝保育の内容を軸にして分担・配置などを考えている。</li> <li>・毎朝会議を行い、その日のメンバーに合った支援内容を確認している。</li> </ul>
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日反省を行い各々が担当した子どもの様子について報告し情報共有している。</li> <li>・振り返りを踏まえて次回の支援や活動内容につなげていくようにしている。</li> <li>・その日の子どもの様子や保護者からの伝達・相談等について話し合っている。</li> <li>・反省の時間をしっかり設けている。問題点や改善案なども話し合っている。</li> </ul>
	18	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			6ヶ月に一回を基本として実施している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録をとることで子どもに対する振り返りが出来たり読み返すことで支援の内容を検証したり活動内容を決定したり出来ている。</li> <li>・毎日必ず一日の様子や保護者からの伝達等を記録している。</li> <li>・毎日、活動・食事・排泄・その他の気付きなどについて記録している。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			児童発達支援管理責任者が出席している。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	80	20		利用児が通園している幼稚園や保育園と連絡をとったり見学をしたり、相談支援専門員やリハビリスタッフと情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		100		現在、対象となる児童がいない。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		100		現在、対象となる児童がいない。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校や特別支援学校(幼稚部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の子どもの状況に合わせ、幼稚園等の通園先への訪問、電話での情報共有、通園先スタッフに来訪して頂くなどで相互理解を図っている。</li> <li>・移行支援として以外でも連携をとっている。</li> </ul>
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20	80		学校や保護者から依頼があった時等、必要に応じて行っている。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80	20		子どもが併用利用している児童発達支援センターや他の児童発達支援事業所と担当者会議を通して連携がとれている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか			100	保育所や認定こども園、幼稚園に通っている子どもがほとんどである為、必要性を感じない。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			100	自立支援協議会への参加は行っていない。
29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	20		朝の通所時や帰りのお迎えの時、お便り帳等、必要に応じて面談などで伝え合っているが、伝え方によってうまく伝わっていないこともある為、共通理解を持つことが出来ているかどうかの確認や配慮が必要。	

関係機関や保護者との連携	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20	40	40	<p>・その都度、保護者に対して助言等行っているが、伝えたいことが上手く伝わらないこともある為、ペアレントトレーニングの必要性を感じる。</p> <p>・面談時や朝の通所時、帰りのお迎え時等出来るだけ時間を設けて行っているつもりだが、上手く伝わっていないこともある。</p> <p><b>【改善目標①】</b></p>
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			契約時(担当者会議)に行っている。変更が生じた際は、都度文書にてお知らせしている。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100			定期的に個別面談を行い、説明をしたうえで同意を頂くようにしている。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80	20		6ヶ月に1回を基本として個別面談を実施している。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		60	40	<p>天心堂へつぎ病院の小児リハとも連携し、不定期で実施しているが、参加者が少なく、保護者が参加しやすい会の開催を検討していく必要がある。</p> <p><b>【改善目標②】</b></p>
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			相談の申し入れがあった際は、電話やメール、場合によっては面談を実施するなど、迅速に対応している。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			月に1回広報誌を作成し、配布を行っている。また、各行事ごとの詳細な案内や連絡体制等の情報についても全て紙面で作成・配布を行っている。
	37	個人情報に十分注意しているか	100			子どもや保護者・関係機関との会話においても十分注意しながら行っている。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			<p>・子どもが理解しやすい様、視覚的な説明を意識している。</p> <p>・就労していて頻繁に会うことが出来ない保護者もいる為、連絡帳を利用し、情報を伝える等の対応を行っている。</p>
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100	事業所のスペースの狭さ等もあり、行えていない。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100			「身体拘束廃止及び虐待防止委員会」に加えて今年度より「感染対策委員会」「災害対策委員会」を立ち上げ、全職員がいずれかの委員会に所属し、定期的に委員会を開催し、各種マニュアルの見直し・訓練等を実施している。また、保護者には本年度、マニュアル集を配布し、周知に努めている。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80	20		<p>・定期的に避難訓練を行っているが、状況ごとの避難パターンや避難後の対応について更なる検討・訓練の必要性を感じる。</p> <p>・訓練は実施しているが、日々通所するメンバーも異なる為、全員が参加できていないのが現状である。</p> <p><b>【改善目標③】</b></p>
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100			利用開始時のアセスメントの際に確認している。新たに疾患が発生した際はその都度保護者より情報を頂いている。

非常時等の対応	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100			保護者を通して主治医より情報提供して頂いている。天心堂へつぎ病院食養課の管理栄養士とも情報共有を行っている。食事の際は、座席の配置についても配慮を行っている。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			日々の小さな気づきについては毎日の反省時に情報共有し、改善すべきことを話し合い、記録に残している。事業所全体で共有すべきヒヤリハットは専用の綴りにいつでも確認できるようにしている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			毎年市が主催する虐待防止研修会に必ず職員を派遣している。また、「身体拘束廃止および虐待防止委員会」が中心となって全職員を対象とした職場内研修を実施し、定期的に動画視聴での研修や事例検討も実施している。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	40	40	20	「身体拘束廃止および虐待防止委員会」が中心となり、作成した指針に基づいて、万が一に備えている。

### 【改善目標①】

職員全体のスキルアップを目指し、個々の職員の経験年数や興味・関心に合わせて学びたい内容を選択でき、年間を通して継続的に学ぶことのできる研修スタイルを構築していく。また、ペアレントトレーニングについての知識と実践力をつけていくことができる様、事業所内での勉強会も含め、様々な研修機会を確保する。

### 【改善目標②】

来年度より、半年に1回を目安に保護者会を開催する。保護者が参加しやすい内容や曜日・時間帯を検討していく。

### 【改善目標③】

移転後の新たな場所・施設での避難ルート選定および訓練の計画・実施・検証を行い、その結果を基に各種マニュアルの見直しを進めていく。また、内容を変更したマニュアルについて全職員および保護者に周知を行っていく。更に避難先での具体的な支援方法についてシュミレーションを実施し、マニュアルに反映させる。